



発行所 日本看護連盟
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2
Tel 03-3407-3606 Fax 03-3407-3627
発行人 大島敏子

No.422

2022年3月2日号



ともものう りお さんが 看護の組織内候補予定者に決定

2月25日、ザ・プリンス パークタワー東京で開催された2021年度日本看護連盟通常総会において、圧倒的多数の賛成をもって、ともものう りお さんが次期参議院選挙（今年7月予定）の組織内候補予定者に決定しました。

通常総会の後に開催された「ともものう りお を国政へ」決起大会に登場した、ともものうさんの決意表明をご紹介します。

ともものう りお さんの決意表明

皆さん、こんにちは。

友納理緒でございます。

今日はこのような会を催してくださり、心から感謝申し上げます。

昨年来、皆さんのご協力のもと、多くの施設を訪問させていただいた中で、よくいただいた質問、特に若い世代の皆さんからいただいた質問があります。それは、看護師になって、弁護士になって、そして今は子育てをしながら、この状況にあるという、私の「原動力は何か？」というものでした。

その質問をいただいた時は、今の看護職の現状の大変さもそうですし、子どもの存在もその一つですし、いろんなことを考えておりました。今、私が思っていることを申し上げますと、やはり私には、看護に対する強い

憧れと尊敬があるのだと思います。

先ほど流されましたプロモーション・ビデオの中でも申しあげておりますが、私が看護師を志したきっかけは、フィリピンのマザーテレサの家での経験です。そこでシスターたちが、終末期で今すぐにでも亡くなってしまうような方に対して、十分な医療機器もない中で、医学的な知識・看護の知識を前提に、手を握って、話しかけて、笑いかけて、最後の死にゆく場を作るといふ、あの状況を見て、本当に看護とは素晴らしい仕事だな、と強い憧れを抱きました。

その後、私が看護師になって現場で見たのは、とても忙しく働く看護師の姿でした。医療・看護は人が行うものですから、事故はゼロにはできません。ひとたび事故が発生してしまった時に看護職が責められる立場に立たされることを、心から残念に思いました。現場の看護職の皆さんが、患者のために素晴らしい働きをされているのを見ておりましたから、何か力になれないかと思うようになりました。

医療事故で紛争となったとき、最後まで看護職の立場に寄り添って対応する人がいれば、心強く思って働けるのではないかと、不安が少しでも解消できるのではないかと思ひ、弁護士を志しました。おそらく、そこにも看護に対する大きな尊敬、そして憧れがあったのだと思います。

そして今、私は国政へと志しているところです。

私は30歳で弁護士になりましたが、この10年間に医療現場の皆さんと、今のコロナ禍も、頭を悩ませながら、現場にある問題解決に努めてきました。しかし、今の法律を前提とすると、現場が困ってしまう問題がたくさんあるのです。有給休暇の問題もそうでしょうし、今の法律が前提だと、現場が混乱してしまう問題が様々あります。

ただ法律がある以上は、それを前提に考えなければいけません。私は主に医療機関側の弁護士をしておりましたので、皆さんと一緒に、どんな状況で、どう対処するかということに頭を悩ませてきました。そして、今ある法律で、これだけ現場が止まってしまうのであれば、その法律や制度を変えていかなければいけない、と考えるようになりました。

この10年間、いろいろな医療訴訟を経験してまいりましたが、医療事故が発生する場合、看護職の疲労が原因となる場合があります。いつもなら確認するところを疲れて確認できなかつたら、事故が起きてしまった。そういった場合、その疲労をとることができる働き方を模索しなければいけません。働き方を考えていくには、労働基準法などの法律が基礎にあります。

さらに人員不足の問題。例えば、有給休暇取得の問題も、そもそも現場

がギリギリの人数でやっているため発生するのです。人員を増やそうとする場合、今度は医療法に規定がありますから、その法律を変えていかなければなりません。

このように様々な問題が見えてきました。

この10年は、弁護士の経験としては長いものではないかもしれませんが、しかし、この中で色々関わってきた問題を解決するには、今ある法律を前提に取り組む弁護士ではなく、現場の皆さんが働きやすい制度、法律を作っていくために国政の場で働きたい。それが、看護に対して強く尊敬、憧れの念を持っている私が、今やるべきことと考えています。

今、いろんな状況があるのかもしれませんが、私の根本にはそういった強い思いがありますので、これからも皆さんと一緒に取り組んでまいりたいと思います。

今日は時間をいただき、ありがとうございました。

ともものりおLINE公式アカウントの友だち登録をお願いいたします！

